

ほしぞうライブラリー



星置東小学校開放図書館運営委員会
令和7年2月5日

学校ではふりかえりやまとめの時期がやってきました。3月にはライブラリーで蔵書点検が始まり、貸出しをお休みしますので、今のうちに読みたかった本を借りにきてくださいね。



2月の開館日

火	水	木
4 1日入学	5	6
11 建国記念の日	12	13
18	19	20
25	26	27

開館日のごあんない

3月の開館日



火	水	木
4 返本のみ	5 返本のみ	6 返本のみ
11 蔵書点検	12 蔵書点検	13
18	19	20 春分の日
25 修了式	春 休 み	

☆お知らせ☆

- ◆開放時間は火・水・木の午後1時～4時です。
- ◆貸出：一人2冊まで1週間(児童) 4冊まで2週間(一般)
- ◆貸出しは2月27日(木)までです。
- ◆3月4日(火)から返本のみになります。

～3月は蔵書点検の季節です！！～

最終貸出日にご注意！

2月27日(木)まで

★1～6年生の最終貸出日は2月27日(木)です。

★3月4日(火)、5日(水)、6日(木)は返本のみとなります。
(貸出しはありません。としょかんで本をよむことはできます。)

★蔵書点検 3月11日(火)・12日(水)



蔵書点検の期間は図書館に入ることできません。
ご協力をお願いします。

※予定は状況により、変更することもあります。

蔵書点検ってなあに？



本の点検や整理をします。1冊1冊手にとってパソコンで確認するため、蔵書点検前に返本していただきますようお願いします。

教室やお家に、返し忘れの本が残っていないか確かめてくださいね。

ワークスペースの国語辞典、漢和辞典もすべて点検します。

3月6日までの返本に、ご協力をお願いします。

蔵書点検期間は休館し、図書館の中には入れません。

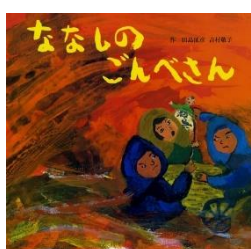
本の貸出しができないためご不便をおかけしますが、4月からまた、気持ちよく図書館を利用していただくための大切な作業です。
皆さんのご協力をお願いいたします。

戦争児童文学の読み聞かせ

12月17日(火)、3年生の国語の授業「ちいちゃんのかげおくり」の単元のまとめとして、さまざまな戦争児童文学を、おはなしの会のボランティアさんが読み聞かせしました。

学年全体で「お手玉いくつ」(長崎源之助・作)を聞いた後4つのブースに分けられました。

胸にせまる物語を真剣に聞いた子どもたちは、すばらしい感想の言葉を述べてくれました。物語をきっかけに、戦争や平和について考えていたら良いですね。(↓ライブラリーにある本です。親子で読んでみてはいかがでしょうか。)



おはなしの会

耳をすませて楽しむ「おはなしの会」

- 1/21 (火)「ほんとにそのとおり！」(アンデルセン童話) 実施済
- 2/18 (火)「クナウとひばり」(アイヌの昔話)
- 3/5 (水)「王子さまの耳はロバの耳」(ポルトガルの昔話)

放課後ミニ児おはなし会

- 12/10 (火)「サンタのおまじない」「まどからおくりもの」 早苗さん
- 「てぶくろをかいに」わらべ歌「いしまつたいまつ」及川さん
- 1/21 (火)「しっぽのつり」伊藤さん 「ゆきおんな」 神田さん
- 2/5 (水)「はらぺこあおむし英語版」和田さん 大型絵本 後藤さん
- 2/25 (火)～お楽しみに～ 永山さん、早苗さん
- 3/5 (水)～お楽しみに～ 綿谷さん、葛西さん



ミニ児のよみきかせランド ～冬のおはなし会～

冬休みの最終日1月14日(火)、ミニ児の「よみきかせランド」におはなしの会が読み手として参加しました。

おはなしのろうそくに火を灯すと、おはなしが始まります。ウクライナ民話「てぶくろ」日本の神話「やまたのおろち」、大型絵本「ねずみのさかなつり」合間に詩「ぼいぼいたいそう」(工藤直子「のはらうた」より)や、お正月のわらべうたなど、みんなで楽しみました。



新着図書

【一般書】

- ◆「タラント」(角田光代) ◆「古本食堂」(原田ひ香) ◆「愚道一休」(木下昌輝)
- ◆「塞王の桶」(上)(下)(今村翔吾) ◆「蛍の光 長州藩士維新血風録」(阿野冠)
- ◆「新装版青い壺」(有吉佐和子) ◆「彼女が最後に見たものは」(まさきとしか)
- ◆「銀座「四宝堂」文房具店」1・2・3・4(上田健次) ◆「よむよむかたる」(朝倉かすみ)
- ◆「ミニシアターの六人」(小野寺史宜) ◆「さまよえる神剣」(玉岡かおる)
- ◆「スロウハイツの神様」(上)(下)(辻村深月) ◆「バタン島漂流記」(西條奈加)
- ◆「京都ものがたりの道」(彬子女王) ◆「赤と青のガウン」(彬子女王)
- ◆「店長がバカすぎて」(早見和真) ◆「新! 店長がバカすぎて」(早見和真)
- ◆「六月のぶりぶりがちよう」(万城目学) ◆「あなたを待ついくつもの部屋」(角田光代)
- ◆「バッタをたおすぜアフリカで」(前野ウルド浩太郎) ◆「クスノキの女神」(東野圭吾)
- ◆「桃太郎のきびだんごは経費で落ちるのか?」(ダイヤモンド社)
- ◆学芸員しか知らない美術館が楽しくなる話(ちいさな美術館の学芸員)